

文化財 だより

NO.14
平成27年度

発行 太田市教育委員会 発行日 平成28年9月30日 編集 太田市教育委員会文化財課 (群馬県太田市粕川町520 TEL 0276-20-7090 FAX 0276-52-6080)・
太田市教育委員会歴史施設課 (群馬県太田市世良田町3113-9 TEL 0276-52-2215 FAX 0276-52-2208)

古代新田郡の役所跡が史跡の追加指定を受けました。

古代新田郡の役所跡として史跡に指定されていた新田郡庁跡は、平成二十七年十月七日に正倉群が見つかった西側の地点を追加指定して、「上野国新田郡家跡」に名称が変更となりました。



黄線部分が平成20年7月28日に指定された部分で、赤線部分が平成27年10月7日に追加指定された部分。(平成27年南西上空から)



今回追加指定された地点の発掘調査。白線部分が正倉。(平成21年上空から)



最初に指定された地点の発掘調査風景 (平成19年上空から)



古代の新田郡役所跡は史跡の追加指定を受けました！

天良町地内で見つかった古代新田郡の役所跡である郡庁跡は、その規模の大きさや重要性から、我が国の歴史を正しく理解する上で欠くことのできない遺跡として、20,736.37㎡が平成20年7月28日に「史跡上野国新田郡庁跡」として国の史跡に指定されました。

その後の調査でこの郡庁の北西で正倉群がよく残されていることがわかったことから、その地点の7,047.19㎡が平成27年10月7日に史跡の追加指定を受け、新たに「史跡上野国新田郡家跡」と名称変更されました。これにより指定地面積は27,783.56㎡となりました。

※郡家は、「ぐうけ」と読み、郡衙ともいいます。中心施設である郡庁、税として納められた稲などを収容する「正倉」(しょうそう)、役人が宿泊した「館」(たち)、厨房施設の「厨家」(くりや)で構成されています。

上野国新田郡家跡発掘調査

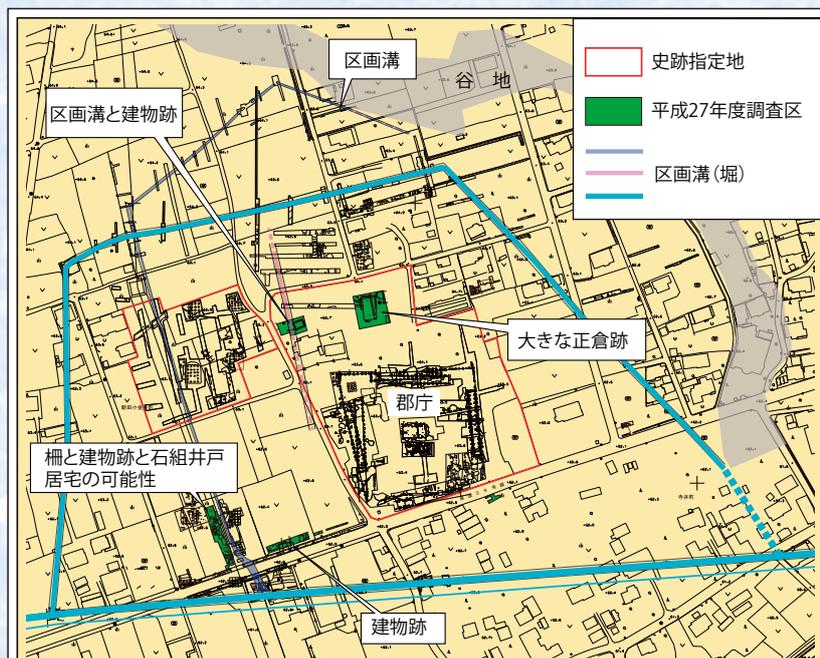
- 調査場所 太田市天良町31-1ほか
- 調査期間 平成27年9月1日～平成28年1月31日
- 調査面積 約2,000㎡

平成27年度の新田郡家の発掘調査は、郡庁の北と西で実施しました。

郡庁の北では、古い時期の区画溝が見つかったほか、2棟の建物跡を確認しました。そのうちの1棟は、地盤改良を施した基礎（総地業）が東西約8.8m、南北約14.5m残されており、税として納められた稲などを保管するための大きな倉庫（正倉）であったと考えられます。

一方、郡庁の西では建物跡のほか、柵列や石組井戸が見つかりました。この場所が居宅などの居住空間として使われていた時期があった可能性が出てきました。

今までの新田郡家の調査で、中心的な施設である郡庁のほか、米を収納するための正倉群が見つかっていましたが、居住空間が確認されたのは今回が初めてです。



新田郡家跡調査図



郡庁の北で見つかった区画溝と建物跡（北東から）



郡庁の北で見つかった大きな正倉跡（南から）



郡庁の西で見つかった建物跡と柵列（北から）



郡庁の西で見つかった石組井戸跡（南西から）

上野国新田郡家跡現地説明会

- ところ 新田郡家跡発掘現場
- とき 平成27年11月29日（日）
参加者 330人（一般対象）
- とき 平成27年11月27日（金）、12月7日（月）
参加者 159人（小学生対象）

市民の皆さんや子供たちに新田郡庁跡の発掘調査の成果を見学していただくために、現地説明会を開催しました。

参加された方々は、郡庁跡や発掘された区画溝や建物跡などを現地で見学していただくことで、新田郡家の規模の大きさを体験していただきました。



説明会風景（南西から）



史跡 かな **金** やま **山** じょう **城** あと **跡** の確認調査

- 調査場所 太田市金山町
- 調査期間 平成27年11月5日～平成28年3月8日
- 調査面積 98㎡
- 調査の概要

今回は、平成24年度の調査で確認した石積の性格とどのように延びるのか、また往時の通路面を明らかにするため、平成24年度調査区西側隣接箇所について調査を行いました。しかし、調査箇所は、斜面上から崩落した土石の量が多く、堆積の様子も複雑な状況を示していました。そのため、調査は、近世面までにとどまり、主目的である中世面の調査は来年度に持ち越しとなりました。

西の山際に近接する調査区西半では南北5.0m×東西2.5mの範囲で造成面を確認しました。造成土は非常にしまりが強く、比較的均一な大きさの金山石のほか、5mm程度の炭化物や焼土塊（または土器片）が混入していました。この造成土の上で12個の柱穴を確認しました。なお、配置に規則性はみられず、性格はあきらかではありません。

また、谷側の調査区東半部では、元からなかったか、後世の土砂崩れで押し流されたのか不明ですが、近世の造成面は確認できませんでした。

主な出土品と概数

近世～現代陶磁器片、染付碗片、かわらけ片、焙烙片、古銭（寛永通宝他）、軽石、焼土塊が出土した。数量は、遺物整理箱2箱。



調査で見つかった造成面と柱穴



平成27年度調査位置図



史跡新田荘遺跡 江田館跡 確認調査

- 調査場所 太田市上江田町925-17ほか
- 調査期間 平成27年7月21日～平成27年10月21日
- 調査面積 約400㎡（遺跡の全体面積約14,000㎡）
- 調査の概要

平成27年度の調査区は、主郭の北西部に当たる部分に2本のトレンチを設定しました。調査の結果確認された遺構は、古墳時代前期の竪穴住居跡2軒、後期古墳3基、近世の溝跡3条、柱穴跡約150本、長方形土坑跡約50基、風倒木跡3基です。古墳はいずれも館の北側土塁の下で確認され、墳丘は削平されていました。なお古墳の1基では、埋葬施設として小型の粘土槨が造られていました。

江田館跡は、これまでの調査では現存する土塁に沿うように内側に溝が巡る様子が確認されていました。しかし、今回の調査区内では、土塁内側の溝を確認していません。

また、今回の調査地点は、後世の造成や耕作による攪乱がローム層の上部にまで及んでいたことを確認しました。このため、近世以降の攪乱によって、竪穴住居跡や古墳の堀のように深く掘られていた一部の遺構を除いて、多くの遺構が壊されていたと考えられ、中世の遺構については今回の調査ではあきらかにすることができませんでした。

主な出土品と概数

縄文土器（中・後期）片と石器および剥片、古墳時代前期（4世紀前半）と後期（6世紀後半）の土器（土師器）と円筒埴輪片、古代の土器（土師器）片、中世の土器（かわらけ・鍋・焙烙）および陶磁器片、近～現代の土器・陶磁器片など、遺物整理箱3箱



1 トレンチ西土塁北壁土層断面（南東より）



1 トレンチ完掘状況（東より）



2 トレンチ遺構検出状況（北より）



史跡金山城跡・新田荘遺跡調査整備専門委員会

史跡金山城跡及び新田荘遺跡（江田館跡）の整備に向けた確認調査や史跡整備などに関する方針を決めていくにあたり、学識経験者や専門家による委員会の指導・助言を得るため、平成27年度も2回の会議を開催しました。



史跡金山城跡現地指導のようす

史跡金山城跡総合整備活用推進事業

多くの人びとに安心・安全に金山城跡を見学していただけるよう、平成27年度は、設置から年数が経過し、損傷していた物見台（写真左下）や馬場曲輪の柵（写真右下）などの改修工事を実施しました。



史跡金山城跡環境整備

史跡金山城跡では、多くの市民の参加を得て実施される5月の金山清掃ボランティア活動や9月の金山清掃のほか、金山城保存会による毎月の除草作業を行っています。



金山城保存会による除草作業



中島知久平邸整備等事業

中島知久平邸の敷地内にある附属建物は、建築後年数が経過しており腐朽が著しいため、応急修繕をおこないました。



附属建物の修繕の状況



門衛所の修繕の状況

史跡環境整備

文化財課では、一年を通して市内の史跡等の除草を行うなど、環境を整備してより身近に文化財に親しんでいただけるよう努めています。



除草作業状況



たちもちみこちゃん

説明板の設置

「北山古墳」、「西山古墳」(ともに藪塚町の県指定史跡)の説明板を設置しました。



北山古墳



西山古墳



おおたんの 史跡探検 スタンプラリー

太田市に数多く存在する貴重な歴史遺産を、正しく理解・認識し、より身近に感じていただくため、平成27年度も「おおたんの史跡探検スタンプラリー」を実施いたしました。

小・中学校が夏休みとなる平成27年7月18日から8月31日を実施期間として、市内の文化財所在地や各資料館など合計26箇所スタンプを設置しました。参加者はガイドマップに載っている地図をたよりに、夏の暑い盛りの中スタンプを求めて市内各所を巡りました。

スタンプを設置した全26箇所のうち20箇所以上を巡ると修了認定されますが、今回は過去最多の4,224人の参加申込があり、その内の2,733人が修了認定されました。

修了者には記念品として、文化財課のマスコットキャラクター「たかじょうくん（市重要文化財鷹匠埴輪）」と「あやちゃん（縄文時代の女性）」のイラストをプリントしたマフラータオルが贈呈されました。

参加者の皆さんには、スタンプラリーを通して太田の歴史を学ぶとともに、家族や友達と一緒に楽しい時間を過ごすことができたのではないかと思います。



ガイドマップとスタンプ帳



記念品（キャラクター入マフラータオル）



スタンプラリー実施状況（金山城跡）



スタンプラリー実施状況（天神山古墳）



今井酒造店 登録有形文化財に

国の文化審議会は平成28年3月、太田市鳥山中町の今井酒造店の建物について、登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に答申を行いました。

登録の運びとなったのは、店舗兼主屋、本蔵、新蔵、釜場及び瓶詰場、文庫蔵、煙突の6件です。店舗兼主屋は邑楽郡大川村（現大泉町）にあった農家の建物が明治33年に移築されたもので、ほかの建物も明治41年から42年に造られたものであるということが、当店に残されている史料等から推定され、酒造りの過程とその歴史を物語る建物として、地域の景観に寄与していることが認められました。

これで太田市の登録有形文化財は、平成15年に登録された新田溜池町の片山家住宅（主屋・長屋門・北の蔵・南の蔵・井戸屋・下の便所）、平成17年に登録された旧世良田村役場庁舎・正門、そして安養寺町の小川家住宅（主屋・長屋門・蚕室）に次いで4番目のものとなります。



釜場及び瓶詰場（手前）、煙突（奥）



店舗兼主屋（南東から）



本蔵（北西から）



文庫蔵（右奥、南から）



今井酒造店建物配置図（平面図）



住所：太田市鳥山中町746-2
電話：0276-22-2680



新蔵内部



さざえ堂保存修理事業

群馬県指定重要文化財さざえ堂（太田市東今泉町 曹源寺）では、傾いた建物を建て起こして耐震補強を行う保存修理工事が、平成29年7月完成をめどに行われています。平成27年度は主に、屋根瓦、木部、壁土等の解体工事が行われましたが、その過程では、漆喰壁に残された創建時から間もない頃に書かれたと思われる、関東各地、遠くは三河などから参詣に訪れた人たちの墨書による落書きが数多く見いだされ、それらの一部は建築年代を物語る史料として保存される予定です。



工事前のさざえ堂

※工事期間中は堂内拝観はできません。ご理解いただきますようお願いいたします。



壁に書かれた落書き



屋根の解体状況



3階内陣の状況

文化財模擬火災訓練

- とき 平成28年1月24日（日）
午前10時～
- ところ 恵林寺（矢場町）

昭和24年1月26日、国宝の法隆寺金堂壁画が焼失したため、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動が実施されています。太田市でも、毎年「文化財模擬火災訓練」を実施しています。

平成27年度は、矢場町の恵林寺で実施しました。恵林寺は「矢場氏墓石群」が市指定重要文化財に指定されています。

訓練は本堂より出火という想定で開始され、消防本部・消防団・関係者の協力のもと、初期消火作業、通報、文化財の持ち出し、一斉放水などの訓練が行われました。



持ち出し訓練



一斉放水



下原古墳群発掘調査・現地説明会

- 調査場所 太田市世良田町地内
- 発掘調査 平成27年5月11日～平成27年6月4日
平成27年11月10日～平成28年3月4日
- 調査面積 3,100㎡

下原古墳群の調査は、世良田地区の農業基盤整備事業に伴う調査の一つとして行われました。

5月から6月にかけて行った発掘調査では、2基の方形周溝墓（古墳時代前期）がみつかりました。

11月から3月にかけて行った発掘調査では、古墳6基と、平安時代の水田跡などがみつかりました。6基の古墳は、総数100基前後と推測される「世良田古墳群」の一部にあたります。県下でも有数の古墳群の解明を進めることになると考えられます。

平安時代の水田は、大畔で限られた幅100mほどの大きな区画の中に、小さな畔で囲まれた水田が数枚みつかりました。条里制の区画を推測させるものでした。なお、水田の遺構は、早川からあふれ出たとみられる洪水泥流に覆われていました。この泥流は、弘仁九年（818年）の地震によっておきた可能性が高いと考えられます。

現地説明会

発掘調査の成果を広く紹介するため、平成28年2月6日（土）に現地説明会を実施しました。発掘の現地の公開の他に、過去4年間の調査で出土した遺物も一部展示しました。

説明会には101名の方が参加し、1000年以上の時を経て再び姿を現した古墳や水田跡を見学していただきました。特に地元の方々からは「身近なところの昔の様子が良く分かった」と大きな反響をいただきました。



説明会風景

じょうのうちのせき

城ノ内遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市八幡町地内
- 調査期間 平成27年7月30日～10月9日
- 調査面積 330㎡

建売住宅の道路部分について発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代～奈良時代の竪穴住居跡23軒と共に、溝（堀）1条、13棟ほどの掘立柱建物、9基の井戸、土抗30基などからなる中世の遺構がみつかりました。竪穴住居からは土師器や須恵器、勾玉などが出土しました。中世の遺構には、カワラケや内耳土器、火鉢、板碑、陶器などが伴っていました。

この度の調査地点は、戦国時代に金山城の支城であった、大島城の本丸が想定されてきた所です。掘立柱建物の中には主殿風のものもあるなど、本丸の解明に着手できたことは大きな成果と考えられます。



調査区（南から）



しも た じ ま い せ き

下田島遺跡（公共開発）

- 調査場所 太田市下田島町地内
- 調査期間 平成27年6月24日～7月23日
- 調査面積 約300㎡

道路の拡幅工事に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳4基、溝9条、井戸1基、土坑6基、ピット8基が検出されました。

古墳は調査範囲が狭小であったため、全体を調べることはできませんでしたが、周堀の検出状況から直径20～25mの規模であることがわかりました。

また、遺物は円筒埴輪や形象埴輪（馬）の鈴や鞍の部分などが検出されました。



古墳の周堀から出土した円筒埴輪

は ま ち よ う こ ふ ん ぐ ん

浜町古墳群（公共開発）

- 調査場所 太田市浜町地内
- 調査期間 平成27年5月13日～6月5日
- 調査面積 83㎡

太田駅周辺土地区画整理事業の道路築造・下水道工事に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代の住居跡等の遺構が確認されました。また、古墳時代～近世までの遺物も出土しました。

この様な事からこの地域に古代から集落があったことがわかりました。



調査区（北から）

ふ じ あ ぐ こ ふ ん ぐ ん

藤阿久古墳群（民間開発）

- 調査場所 太田市藤阿久町地内
- 調査期間 平成27年6月15日～7月3日
- 調査面積 約180㎡

店舗建設に伴って発掘調査を実施しました。古墳時代前期の竪穴住居跡3軒、古墳時代後期の古墳などが確認されました。古墳は、径30mほどの円墳と推測され、埴輪も伴っていました。藤阿久古墳群を解明するきっかけとなる調査となりました。



調査区（南東から）



ひがしながおかいち いせき

東長岡 I 遺跡 (民間開発)

- 調査場所 太田市東長岡町地内
- 調査期間 平成27年6月4日～6月17日
- 調査面積 約122㎡

分譲住宅地の造成工事に伴い発掘調査を実施しました。その結果、方形周溝墓2基、住居跡1軒、溝2条、土坑7基、ピット1基が確認されました。2基の方形周溝墓は出土した土器の特徴から、古墳時代前期に築造されたものと思われます。住居跡はわずかながらカマドが確認されているものの、遺物がほぼ伴っていないため、正確な時期は確定できず、5世紀後半以降のものというにとどまります。その他、縄文時代中期の土器が多量に散布していたことから、その時代に集落域であった可能性があります。



方形周溝墓 (北西から撮影)

でいりゆうした いせきぐん

F P 泥流下遺跡群 (民間開発)

- 調査場所 太田市岩松町地内
- 調査期間 平成27年9月3日～9月14日
- 調査面積 約100㎡

倉庫の建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、住居跡が1軒確認されました。規模や形状から6世紀後半のものであると推定されます。

検出された住居跡には、カマドが2つ作られています。一方は焚口が既に破壊されており、何らかの理由で作り直したものと考えられます。

遺物はほとんど出土せず、おそらく引越の際に持ち去ったものと考えられます。



住居跡全景 (北東から撮影)

かみ いせき すいていとうさんどうえき ろうしほり やのほら

上遺跡、推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルート (民間開発)

- 調査場所 太田市鳥山上町地内
- 調査期間 平成27年12月7日～12月24日
- 調査面積 約142㎡

店舗建設に伴い発掘調査を実施しました。東山道の駅路と考えられる遺構がみつかりました。遺構は幅13mほどで、側溝からは7世紀後半頃の土器が出土しました。事前の確認調査では、亀山古墳の周堀がみつかり、これが全長80mほどの前方後円墳であること、古墳の北脇を駅路が通っていたことが分かりました。



東山道の駅路遺構 (西から。右手の森が亀山古墳)



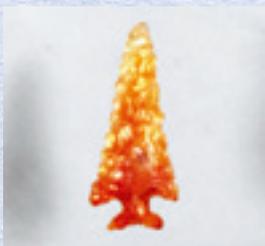
平成27年度埋蔵文化財最新情報展

- とき 平成28年2月4日（木）～3月27日（日）
- ところ 史跡金山城跡ガイダンス施設・金山地域交流センター ギャラリー
- 観覧者 3,421人

平成27年度の埋蔵文化財最新情報展は、上強戸古墳群の遺物整理作業が終了し、発掘調査報告書が刊行されたことを受け、「八王子山公園の下に眠っていたムラ」というテーマで行いました。

上強戸古墳群は太田市上強戸町の八王子山公園の造成工事に伴い、平成17～18年にかけて発掘調査が行われました。その結果、古墳時代の住居跡が54軒、古墳が10基確認され、丘の上に形成された古墳時代のムラの様子が明らかとなりました。

会場では、その古墳時代の集落で使用された土器を中心に、古墳から出土した鉄剣や管玉などを展示しました。



メノウ製の矢じり



土器器 甕

最新情報展ポスター

出土遺物整理作業

文化財課では、これまで実施した発掘調査の成果を公開するために、出土した遺物の接合や復元、実測、写真撮影等の整理作業を行い、資料化を進めています。平成27年度は、相場観音経塚や駒形神社埴輪窯跡、岩松千歳2遺跡、平成26年度太田市内遺跡などの各調査の整理作業を実施しました。

平成27年度には、平成26年度の各種開発に伴う確認調査をまとめた『市内遺跡報告書11』と、宅地造成に伴う発掘調査結果をまとめた『相場観音経塚発掘調査報告書』を刊行しました。



平成27年度刊行した報告書



整理作業風景



平成27年度 確認調査一覧表

No.	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
1	石神遺跡	龍舞町	H27.4	民間
2	浜町古墳群	浜町	H27.4	市
3	長福寺遺跡	下田島町	H27.4	市
4	下田島遺跡	下田島町	H27.4	市
5	高林鶴巻古墳群	高林南町	H27.5	民間
6	東長岡Ⅰ遺跡	東長岡町	H27.5	民間
7	道灌谷戸遺跡	下浜田町	H27.5	民間
8	藤阿久古墳群	藤阿久町	H27.6	民間
9	東矢島遺跡	未広町	H27.6	民間
10	天良七堂遺跡	寺井町	H27.6	民間
11	城ノ内遺跡	八幡町	H27.6	民間
12	田谷遺跡	東矢島町	H27.7	民間
13	要害遺跡	新田反町町	H27.8	民間
14	東部地区遺跡群	阿久津町	H27.8	民間
15	F P泥流下遺跡群	岩松町	H27.8	民間
16	高林鶴巻古墳群	高林南町	H27.9	民間
17	反町城館跡、要害遺跡	新田反町町	H27.9	民間
18	堀之内遺跡	西野谷町	H27.9	市
19	反町城館跡、要害遺跡	新田反町町	H27.9	民間
20	今井地区遺跡群	世良田町	H27.9	民間
21	F P泥流下遺跡群	粕川町	H27.9	民間
22	上泉開戸遺跡	鳥山中町	H27.10	民間
23	焼山古墳群	東長岡町	H27.10	民間
24	高林本郷遺跡	高林南町	H27.10	民間
25	東部地区遺跡群	堀口町	H27.10	民間
26	東部地区遺跡群	堀口町		民間
27	女体山古墳東方遺跡	内ヶ島町	H27.10	民間
28	清川遺跡	由良町	H27.11	民間
29	上遺跡、推定東山道駅跡牛堀・矢ノ原ノト	鳥山上町	H27.11	民間

No.	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
30	三島遺跡	藪塚町	H27.12	民間
31	赤城南遺跡	新田市野井町	H27.12	民間
32	寺中遺跡	矢田堀町	H27.12	民間
33	高林鶴巻古墳群	高林南町	H27.12	民間
34	高林鶴巻古墳群	高林南町	H27.12	民間
35	細谷東遺跡、細谷八幡遺跡	細谷町	H28.1	民間
36	金井口埴輪窯跡	東金井町	H28.1	民間
37	西田島遺跡	下田島町	H28.1	民間
38	安養寺森ノ内遺跡	安養寺町	H28.1	民間
39	細谷八幡遺跡、細谷合ノ谷遺跡	細谷町	H28.1	民間
40	御霊遺跡	龍舞町	H28.1	民間
41	磯ノ宮遺跡	上小林町	H28.1	民間
42	天良七堂遺跡	寺井町	H28.1	民間
43	下原遺跡	脇屋町	H28.2	民間
44	反町城館跡	新田反町町	H28.2	民間
45	中村田遺跡	新田村田町	H28.2	民間
46	焼山古墳群	東長岡町	H28.2	民間
47	小丸山西遺跡	緑町	H28.2	市
48	反町城館跡	新田反町町	H28.2	民間
49	東矢島遺跡	古戸町	H28.2	民間
50	東部地区遺跡群	堀口町	H28.2	民間
51	東部地区遺跡群	堀口町	H28.2	民間
52	東部地区遺跡群	阿久津町	H28.2	民間
53	細田遺跡	安良岡町	H28.2	民間
54	北之庄遺跡	由良町	H28.3	民間
55	東部地区遺跡群	岩松町	H28.3	民間
56	高林鶴巻古墳群	高林南町	H28.3	民間
57	北之庄遺跡	由良町	H28.3	民間

開発に係る調整 平成27年度 事前照合・協議件数等

	公共事業	民間開発	合計
事前照合・協議	26件	2130件	2156件
本発掘調査	3件	5件	8件
確認・試掘調査	5件	52件	57件
学術調査	3件	-	3件
立会調査	14件	14件	28件
慎重工事	2件	417件	419件
93条届出		438件	438件
94条通知	17件		17件
確認・試掘調査面積	474㎡	5126㎡	5600㎡
本調査面積	4883㎡	874㎡	5757㎡
学術調査面積	2498㎡		2498㎡

新田莊歴史資料館

第7回企画展 縄文最後のきらめき「石之塔遺跡展」

- と き 平成27年3月14日（土）～5月17日（日）
- 入館者 1,724人

石之塔遺跡は、太田市最北部の藪塚町にあり、八王子丘陵と大間々扇状地に挟まれた水田地帯で発見された縄文時代後期から晩期にかけての遺跡です。土地改良事業に伴い昭和61年度に、発掘調査が行われました。今回の企画展は、発掘調査後30年を経た石之塔遺跡の出土遺物を一堂に展示し、再評価の光を当ためました。



展示の様子

ゴールデンウィーク・夏休み企画 「キーホルダー作り」

- と き 平成27年4月29日（水）～5月6日（水）
- 参加者：39人
- と き 平成27年7月18日（土）～8月30日（日）
- 参加者：340人

プラ板を使い、オリジナルイラストを写し取り、キーホルダーを作りました。



平成27年度「長楽寺展」 徳川家康没後400年記念 ー徳川家と太田市ー

- と き 平成27年10月10日（土）～11月29日（日）
- 入館者 2,524人

長楽寺は、新田氏の祖新田義重の子徳川義季が、承久3年（1221）に日本に臨済宗を伝えた栄西の高弟栄朝を招いて創建した寺です。

新田徳川氏を先祖であるとする徳川家は、長楽寺を先祖の建てた寺として庇護し、3代将軍家光の日光東照宮大改修の時、奥社拝殿を長楽寺境内に移築し、東照宮を勧請します。また、宗派を天台宗に改宗し、長楽寺伽藍の整備を行いました。

平成27年は、元和2年（1616）に亡くなった徳川家康の没後400年目にあたる年であることから、長楽寺に伝わる江戸時代の徳川家関係資料を中心に展示しました。



展示風景

☆関連講演会 「徳川家康と大光院」

- と き 平成27年10月11日（日）
- 講 師 小此木輝之氏（大正大学 特任教授）
- 参加人数 108人



小此木輝之氏



齋藤慎一氏

☆関連講演会 「徳川幕府と城館ー家康没後の城づくりの変化」

- と き 平成27年11月3日（火）
- 講 師 齋藤慎一氏（江戸東京博物館 学芸員）
- 参加人数 96人



説明会の様子

☆関連行事 「ガイドと歩く紅葉の歴史公園」

- と き 平成27年11月26・27日（計4回開催）
- 参加人数 29人



縁切寺満徳寺資料館

講演会 井上ひさし作「東慶寺花だより」を読むⅡ - 話題の映画にふれて -

- 講師 高木侃氏（縁切寺満徳寺資料館名誉館長）
- 参加者 58人

井上ひさし作『東慶寺花だより』原案の映画「駄込み女と駆出し男」が話題になりましたが、この映画の監修をした高木名誉館長ならではの話などにもふれつつ、夫婦間の協議で離婚する内済離縁を中心にした縁切りの仕組みを解き明かしていく、といった講演をしていただきました。さらに、この講演会では特に先渡し離縁状に注目した内容となりました。



講演する高木名誉館長

伝統文化講座「琵琶演奏」及び大衆文化講座「落語」と「講談」

★伝統文化講座「琵琶演奏」他★

- と き 平成27年10月2日（金）
午後6時30分から
- 演 者 琵琶 仲林光子氏
笛・琴 仲林利恵氏
- 参加者 63人

琵琶奏者 仲林光子氏と、その娘 利恵氏をお招きし、十七弦や笛の演奏を盛り込んだ臨場感あふれる琵琶語り「耳なし芳一」他や、利恵氏による迫力ある笛の演奏等をランタンの明かりに浮かび上がった縁切寺満徳寺復元本堂内にて開催しました。



琵琶「仲林光子氏」 笛「仲林利恵氏」

★大衆文化講座「落語」と「講談」★

- と き 平成27年10月3日（土）
午後1時30分から
- 演 者 落語 柳家 はん治師匠
講談 宝井 琴調師匠
落語 柳家 小はぜさん
- 参加者 70人

落語家 柳家はん治師匠・柳家小はぜさん及び講談師 宝井琴調師匠をお招きし、縁切寺満徳寺復元本堂内にて、笑いあり、涙ありの創作ものや古典ものの「落語」及び「講談」を実施しました。



落語家 柳家 はん治師匠



講談師 宝井 琴調師匠



特別展「江戸の道德教育－寺子屋と徳育－」

●と き 平成27年7月16日（木）～9月6日（日）

●入館者 3,552人

今回の特別展は、法政大学講師で学術博士でもある小泉吉永氏監修のもと、「江戸の道德教育-寺子屋と徳育-」と題し、教育関係者を念頭に、寺子屋教育と徳育や躰の様子、道德教材（往来物等）の内容、指導や体罰についての考え方、家庭と教師との関係性、求められる教育者の資質などに焦点を当てた展示をしました。



江戸時代の寺子屋の様子

【特別展展示解説会】

●と き 平成27年8月1日（土） 午前11時から

●講師 小泉 吉永氏（法政大学講師）

●参加者 15人

【特別講演会「江戸の道德教育－寺子屋と徳育－」】

●と き 平成27年8月1日（土） 午後2時から

●講師 小泉 吉永氏（法政大学講師）

●参加者 35人

江戸時代の往来物研究の第一人者で、縁切寺満徳寺資料館で平成27年7月16日（木）から9月6日（日）まで開催された特別展「江戸の道德教育-寺子屋と徳育-」を監修していただいている小泉先生から、特別展の内容に沿って、寺子屋の規則など江戸時代の道德教育についてご講演をいただきました。



特別講演会の様子

第29回三くだり半企画展

「明治の三くだり半Ⅱ－離縁状はいつまでもちいられたか－」

●と き 平成27年10月24日（土）～平成27年12月13日（日）

●入館者 1,488人

明治5年から昭和15年までの三くだり半のうち、明治らしい特徴をもつものを展示しました。また、離婚契約書のほか、貴族と庶民の離婚手続きや、比較のために最も古い離縁状の一つである元禄9年の離縁状も展示しました。



【企画展 「明治の三くだり半Ⅱ

－離縁状はいつまでもちいられたか－ 展示解説会】

●と き 平成27年11月1日（日） 午後2時から

●講師 高木 侃氏（縁切寺満徳寺資料館名誉館長）

●参加者 16人



展示の様子

【講演会「離縁状はいつまでもちいられたか」】

●と き 平成27年11月8日（日） 午後2時から

●講師 高木 侃氏（縁切寺満徳寺資料館名誉館長）

●参加者 23人

高木名誉館長により、参加者に配布された図録に沿った説明が行われたが、途中、離縁状の原本を掲示したり、余談を交えたりといった充実した内容になりました。



講演会の様子



高山彦九郎記念館

企画展

「江戸時代のお公家さん －高山彦九郎が見た公家の世界－」

- とき 平成27年3月21日(土)から6月28日(日)
- 入館者 552人

「高山彦九郎日記」には、高山彦九郎が、公家の岩倉具選邸に寄留し、学者・文化人とともに、多くの公家たちと交流している様子が記されています。彦九郎との交遊を示す資料から、お公家さんの世界の一端をご覧くださいました。



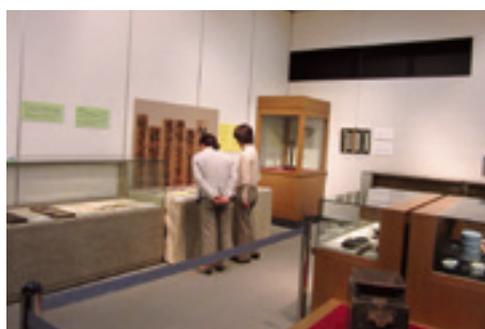
展示の様子

企画展

「日光例幣使道 木崎宿の役割 －彦九郎と旅－」

- とき 平成28年3月19日(土)から6月12日(日)
- 入館者 194人(3/31まで)

旅の思想家といわれる彦九郎。郷里である日本例幣使道木崎宿の旅籠林屋を取り上げて、往時の脇往還に繰り広げられた、旅人と宿の役割に関連する資料を展示しました。



展示の様子

講演会「江戸時代の天皇と公家」

- とき 平成27年5月31日(日)
午後2時から午後3時45分まで
 - 演題 「江戸時代の天皇と公家」
 - 講師 西村 慎太郎氏
(国文学研究資料館 兼 総合研究大学院大学准教授)
 - ところ 九合行政センター
 - 参加者 87人
- 近世の天皇・朝廷についての概略から始まり、公家や「高橋宗孝の生涯」についての講演会を実施しました。



西村 慎太郎 氏

「高山彦九郎『北行日記』日光の足跡を尋ねる」勉強会・見学会

【勉強会】

- とき 平成27年10月22日(木)
午後1時30分から午後3時30分まで
- 講師 小林良男氏(高山彦九郎研究会 幹事長)
- ところ 高山彦九郎記念館2階(特別展示室)

【見学会】

- とき 平成27年10月29日(木)
午前8時30分から午後5時15分まで
 - ところ 日光東照宮、杉並木街道、花輪宿
 - 参加者 29人
- 「高山彦九郎『北行日記』日光の足跡を尋ねる」と題し、高山彦九郎と関わりのある地を訪ねました。



見学会の様子 日光杉並木街道にて



藪塚本町歴史民俗資料館

ミニ企画展 「東毛の歴史を集める」 ～東毛考古学のパイオニア 今井新次没後40年記念～

●と き 平成27年3月21日（土）～7月12日（日）
 ●入館者 457人
 藪塚本町歴史民俗資料館の主要な収蔵資料は藪塚温泉今井館主である故今井新次と父故伊三郎の親子二代によって収集されたものです。
 元藪塚本町町長でもあった今井新次先生没後40年を記念して、その生涯に焦点を当てた展示をしました。



展示のようす

ミニ企画展 「遺作でたどる歌人 大槻三好の生涯」

●と き 平成27年7月18日（土）～10月25日（日）
 ●入館者 2,242人
 太田市の音楽家シリーズ第4回目として、昨年度、ミニ企画展で紹介した作曲家、定方雄吉とともに、太田市内の小中学校の校歌などを数多く作詞した歌人であり、美術家、教育者でもある太田の生んだ文化人、大槻三好氏を紹介する資料を展示しました。
 また、関連資料として蕪川小学校所蔵の青い目の人形メリーちゃんを展示しました。この人形は、当時の校長であった大槻先生によって戦争中壊されることなく守られたものです。



大槻三好氏



メリーちゃん
(蕪川小学校所蔵)

大隅俊平美術館

第6回企画展 「受け継がれる伝統-師から弟子へ-」

●と き 平成27年4月24日（金）～7月12日（日）
 ●入館者 1,226人
 大隅俊平の師匠である宮入昭平刀匠の太刀をはじめ、3人の弟子である刀匠のそれぞれの作品を展示しました。

第7回企画展 「日光東照宮宝物にみる再刃-蘇る名刀-」

●と き 平成27年10月24日（土）
 ～平成28年1月24日（日）
 ●入館者 1,269人
 日光東照宮で焼失した国宝級の古典名刀を人間国宝であった大隅刀匠をはじめ隅谷刀匠・天田刀匠が再刃復元した太刀など14口ふりを展示しました。





実 演

銘切実演

- と き 平成27年5月5日（火）午前10時～、午後1時30分～
 - 講 師 本田正紀刀匠（大隅俊平弟子）
 - 参加者 104人
- 刀匠が自身の作品に銘を切るところを公開し、実演終了後には、真鍮プレートに子ども達の名前を切りプレゼントしました。



銘切実演

刀剣研磨実演

- と き 平成27年9月13日（日）午後1時～
 - 講 師 大西伸夫研師
 - 参加者 99人
- 研師による刀剣研磨の様子を公開しました。



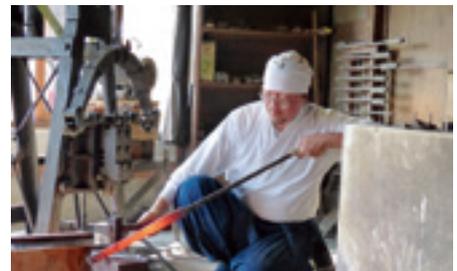
王朝装束着装実演

樋かき実演

- と き 平成27年10月18日（日）午前11時～、午後2時～
 - 講 師 本田正紀刀匠（大隅俊平弟子）
 - 参加者 38人
- 刀身に樋と呼ばれる溝を彫る工程を公開しました。

王朝装束着装実演

- と き 平成28年1月24日（日）午後1時～
 - 講 師 （財）民族衣裳文化普及協会群馬県支部
金井美由紀 氏
 - モデル ミス太田の大島さん、ミス八瀬川の生方さん
 - 参加者 61人
- 十二単、直衣の着装の様子を鑑賞していただきました。



作刀実演

作刀実演

- と き 平成28年3月27日（日）午後1時～
 - 講 師 高野和也刀匠（大隅俊平弟子）
 - 解 説 本田正紀刀匠（大隅俊平弟子）
 - 参加者 213人
- 作刀工程の一部「造り込み」を刀匠の解説付きで実演し公開しました。

講 座

花結び講座

- ◆花結び講座「釈迦結びでループタイ」
 - と き 平成27年6月23日（火）～28日（日）
 - 参加者 58人
- 釈迦結びでループタイを作成しました。



花結び講座のようす

- ◆花結び講座「干支・申」
 - と き 平成27年11月17日（火）～23日（月）
 - 参加者 58人
- 干支（申）を紐で作成しました。

- ◆ワークショップ「結び遊び～こけしストラップ」
 - と き 平成28年2月23日（火）～3月4日（金）
 - 参加者 61人
- 「結び」でこけしストラップを作成しました。



釈迦結びでループタイ



こけしストラップ

中島知久平邸地域交流センター

中島知久平邸地域交流センター

平成26年6月のオープンから、玄関棟など建物の一部と前庭等の一般公開を行っています。地域交流センターの勤務経験者が中島邸の魅力と見どころを紹介します。



中島知久平がご両親のために、そして中島家に思いを込めて建てられた中島知久平邸。建築の意匠、構造、素材等すべてにおいて評価が高い建造物。西に玄関、南側に客間を施し、建物のいたるところに“さがり藤”の家紋や、中庭の植樹の向きなどにも気遣い、意義深いものが感じられます。

利根川が一望できた大邸宅。「飛行機王（知久平）」がここに位置付けた価値観が見学のポイントとも思っています。

松井 功

中島知久平邸の見所は多く全ては書けませんが、門から始まる木組み、床のモザイク模様、東京都庭園美術館（旧明日香宮邸）・遠山記念館等とデザインの共通性が感じられる家具、シャンデリア、そしてステンドグラス。先の地震にもかかわらず建物のずれは殆どありません。知久平の従業員を大切にすることが太田病院や東山球場等の建設につながっているのかもしれません。

偽装が聞こえる今日、職人たちの真心を込めた仕事、知久平の従業員への思いを知って頂ければ嬉しく思います。

島岡芳和



中島知久平邸調査報告書・整備工事報告書

中島知久平邸について、大学等の専門家によってこれまで行われた調査の詳細と整備工事の内容をまとめた報告書を刊行しました。中島邸を詳しく知りたい方は、中島知久平邸地域交流センター、太田市教育委員会文化財課で販売していますので、是非ご購入下さい。（販売価格：2,800円）





史跡金山城跡ガイドンス施設

体験学習

内容	月 日	回数	講師	参加者数
草木染教室Ⅰ	5/16・6/13・7/11・9/12・10/10、12/19 (飾り糸車)	6回	板野千恵氏	60人
草木染教室Ⅱ	5/28・6/17・7/15・9/16・10/14	5回	職員	43人
寄せ植え教室	4/23・11/26	2回	宮森美奈子氏	19人
消しゴムはんこ作り教室	6/25・9/17	2回	松井悦子氏	24人
絵手紙作り教室	11/19	1回	松井悦子氏	8人
金山城跡を歩く	5/20	1回	職員	11人
篆刻体験教室	9/26	1回	龍舞篆会	10人
金山茶道教室	7/14・8/4・9/1・9/15・10/27	5回	東毛茶道会	64人
勾玉づくり体験教室	開館日随時受付		職員	690人
火起こし体験教室	開館日随時受付		職員	150人
軍配づくり体験教室	開館日随時受付		職員	70人



草木染め教室



寄せ植え教室作品



絵手紙教室作品



篆刻教室

歴史講演会等

第16回金山歴史講演会

- とき 平成27年5月31日(日)
- 講師 伊藤正義氏(鶴見大学文学部教授)
- 演題 謙信越山
一上杉軍団と越後国頸城郡絵図一
- 参加者 50人



第17回金山歴史講演会

- とき 平成28年2月14日(日)
- 講師 久保田順一氏
(群馬県文化財保護審議会専門員)
- 演題 新田荘と金山城
- 参加者 101人



ギャラリートーク

- とき 平成27年8月9日(日)・30日(日)
- 講師 職員
- 演題 金山城跡の発掘調査を語る
- 参加者 28人



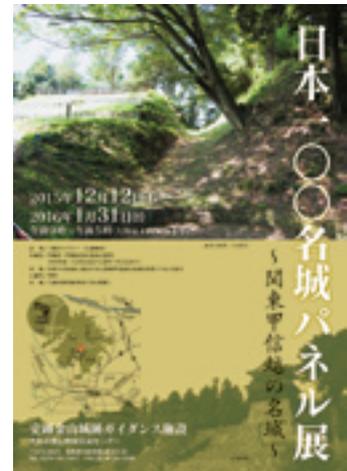
ギャラリー展示



金山城跡発掘調査展



篆刻展



日本100名城パネル展

企画展名	期間	来場者
寄贈資料展～林 映利氏コレクション	3月7日～6月14日	3,992人
金山城跡発掘調査展	7月4日～9月6日	6,042人
篆刻展「江戸名家の落款印模刻展」	9月12日～11月8日	3,957人
日本100名城パネル展 ～関東甲信越の名城～	12月12日～1月31日	2,433人
埋蔵文化財最新情報展 「八王子山公園の下に眠っていたムラ」	2月4日～3月27日	3,421人

文化振興事業 「秋の茶会コンサート」～琴と尺八の音色を楽しむ～

ガイダンス施設を日本古来の伝統文化発信地としていくことを目的として、邦楽コンサートと野点のコラボレーションを開催しました。

- とき 平成27年10月31日（土）
- 奏者 尺八：田中黎山さん、琴：吉川由里子さん
- 野点 東毛茶道会・金山茶道教室参加者
- 参加者 143人



新田荘歴史資料館	〒370-0426	太田市世良田町3113-9	TEL 0276-52-2215
縁切寺満徳寺資料館	〒370-0425	太田市徳川町385-1	TEL 0276-52-2276
高山彦九郎記念館	〒373-0842	太田市細谷町1324-7	TEL 0276-32-5632
藪塚本町歴史民俗資料館	〒379-2301	太田市藪塚町149	TEL 0277-78-5728
大隅俊平美術館	〒373-0036	太田市由良町3051	TEL 0276-20-6855
史跡金山城跡ガイダンス施設	〒373-0027	太田市金山町40-30	TEL 0276-25-1067
中島知久平邸地域交流センター	〒370-0405	太田市押切町1417	TEL 0276-52-2235